

「心臓リハビリテーション外来における患者特性の変化に関する実態調査」

1. 研究の対象

2016年12月1日から2017年11月30日までの期間および、2020年12月1日から2021年11月30日までの間に当院の心臓リハビリ外来に通院した計114名の患者さん。

2. 研究目的・方法

心臓リハビリテーションとは、急性心筋梗塞や心臓手術後、慢性心不全など循環器病の診断を受けた患者さんを対象に、有酸素運動や筋力トレーニングをおこなうリハビリを指します。従来はエアロバイクを漕ぐ、トレーニングマシンを使用するといった運動が主体におこなわれていましたが、対象者が高齢化するにともない、他の病気（脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、脳梗塞など）をかかえているかたも多くなってきました。心臓リハビリ関連学会においても、近年話題にされているフレイルやサルコペニアへの対応が必要であると明言されており、心臓リハビリの実施内容も社会情勢に沿ってアップデートしていく必要があります。

そのため、当院においても心臓リハビリに通院されている患者さんの特性を明らかにし、より患者さんの状態に合った安全な運動メニューや効果判定方法を検討していきたいと考えています。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

本調査では、当院の心臓リハビリ部門が管理しているデータおよび診療録から、通院されていた患者さんの情報を収集します。収集する情報は、主病名、年齢、歩行障害の有無、筋肉量、体力の値などです。収集後、2016年度と2021年度におけるこれらのデータを比較します。

4. 外部への試料・情報の提供

収集されたデータは、当院の心臓リハビリ外来に関係するスタッフ間（医師、理学療法士）で共有し、現状把握や今後の課題抽出をおこなう予定です。また、2022年に開催される日本心臓リハビリテーション学会学術集会で調査結果を報告し、他施設からいただいたご意見も参考に、今後の運用変更を検討していきます。

調査結果および報告内容に関しては、匿名化し個人情報特定できないよう配慮し、今回の調査目的以外に使用することはありません。

5. 研究組織

近江八幡市立総合医療センター	リハビリテーション技術科	奥村 高弘
近江八幡市立総合医療センター	リハビリテーション技術科	尾上 良歩
近江八幡市立総合医療センター	リハビリテーション技術科	亀井 彩子
近江八幡市立総合医療センター	循環器内科	深井 邦剛
近江八幡市立総合医療センター	循環器内科	西川 真理恵

6. お問い合わせ先

本調査に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の調査対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資

料を閲覧することが出来ます。

また、本調査対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および調査に了承いただけない場合の連絡先：

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科

奥村 高弘（調査責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地 TEL 0748-33-3151